

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	選択ダンススキル6（選択HIPHOP）	
科目基礎情報					
開設学科	ダンスパフォーマンス科	コース名	全コース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	実習
教科書/教材	適時レジュメ・資料を配布する				
担当教員情報					
担当教員	HIROTO	実務経験の有無・職種	有・プロダンサー		
学習目的					
この科目ではステップやコンビネーションを理解し、毎回テーマに沿った振付を通してHIP HOPの表現力を磨く。また振りを踊るうえでの基本的ステップを習得する。					
到達目標					
この科目では基礎を身に付けた上でHIPHOPのフィーリングをしっかりと理解する事を目標とする。アイソレーションやリズムなど基礎技術をしっかりと生かした上でより高度な表現を修得する。					
教育方法等					
授業概要	プロダンサーとしてステージに立つことのできるレベルのHIPHOPダンサーの育成 レッスンで学んだスキルでその場で出来なかったものは必ず次回レッスン時までに練習してこよう。				
注意点	現状のダンスレベルに関係なく、誰でも参加可能です。ただレッスン内容はプロダンサー育成を目的としているため、上級者向けのレッスン内容となっています。初心者の方は自主練集をしっかりと行ってください。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	0%			
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	50%	前期最後のレッスン内にて実技テストを行い評価		
平常点	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	ガイダンス	HIPHOPについての理解を促す実技演習			
2回	HIPHOP基礎①	ストレッチ、アイソレーション			
3回	HIPHOP基礎②	ストレッチ、アイソレーション、リズムトレーニング			
4回	HIPHOP基礎③	曲に合わせてのリズムトレーニング(コンビネーション)			
5回	HIPHOP応用①	短い振付による動き（HIP HOP）			
6回	HIPHOP応用②	短い振付による動き（日本語HIP HOP）			
7回	HIPHOP応用③	短い振付による動き・発表			
8回	HIPHOP基礎①	テクニク＋ルーティーン			
9回	HIPHOP基礎②	テクニク＋ルーティーン、コンビネーション			
10回	応用コンビネーション①	短い振付による表現、コンビネーション			
11回	応用コンビネーション②	長い振付による表現方法の学習（リズム、ステップ、コンビネーション）			
12回	応用コンビネーション③	振付による表現（発表準備、踊り込み）			
13回	レベルチェック	応用コンビネーションの振付を用いて技術レベルを確認し、各自の強み・弱みを把握する			
14回	模擬オーディション振り入れ	模擬オーディションに関する振付を覚え、試験に備える			
15回	模擬オーディション	オーディション形式の実技理解度確認を行い、実践に活かせるようにする			